

東北地方 1か月予報

(7月4日から8月3日までの天候見通し)

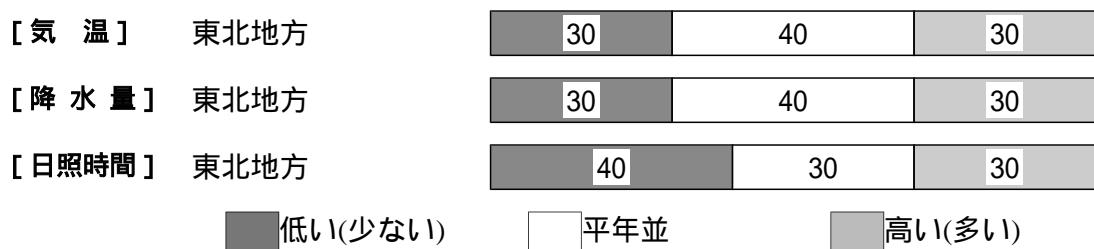
平成21年7月3日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

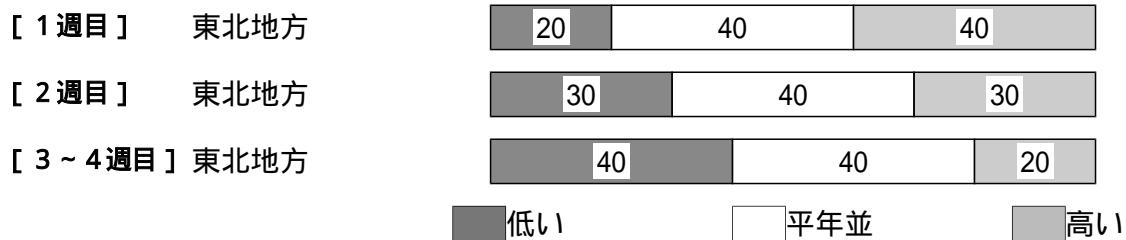
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は平年並または高い確率とともに40%、3～4週目は平年並または低い確率とともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月	:	7月 4日(土) ~ 8月 3日(月)
1週目	:	7月 4日(土) ~ 7月 10日(金)
2週目	:	7月 11日(土) ~ 7月 17日(金)
3～4週目	:	7月 18日(土) ~ 7月 31日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月10日
3か月予報：7月23日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	21.5	105.4	181.0	19.6	20.6	22.5
深浦	21.7	149.7	181.1	19.9	20.8	22.7
むつ	20.0	121.0	154.7	18.1	19.1	21.0
八戸	20.7	114.9	171.2	18.6	19.6	21.7
秋田	23.1	177.5	175.6	21.2	22.2	24.1
盛岡	22.1	168.4	147.5	20.4	21.2	23.0
大船渡	21.4	164.0	153.3	19.6	20.5	22.3
宮古	20.4	138.9	151.7	18.5	19.4	21.3
仙台	22.4	158.7	133.2	20.6	21.5	23.4
石巻	21.7	127.4	152.8	20.0	20.8	22.6
山形	23.6	144.5	160.4	21.8	22.7	24.5
新庄	22.7	184.8	158.9	20.9	21.8	23.6
酒田	23.5	183.3	186.2	21.6	22.6	24.5
福島	23.9	144.6	139.2	22.2	23.0	24.8
若松	23.7	158.5	174.6	22.1	22.9	24.6
白河	22.3	191.3	135.7	20.7	21.6	23.1
小名浜	22.0	122.7	160.4	20.5	21.3	22.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.6	83 ~ 115	93 ~ 109
東北日本海側	-0.3 ~ +0.5	81 ~ 119	90 ~ 109
東北太平洋側	-0.2 ~ +0.8	79 ~ 116	92 ~ 113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.6	-0.9 ~ +0.8	-0.4 ~ +1.0
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.9 ~ +0.7	-0.9 ~ +1.0	-0.4 ~ +1.0

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年7月3日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月4日~8月3日) :

東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(7月4日~7月10日) :

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の中頃は晴れる日もあるでしょう。

平均気温は平年並または高い確率とともに40%です。

2週目(7月11日~7月17日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(7月18日~7月31日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

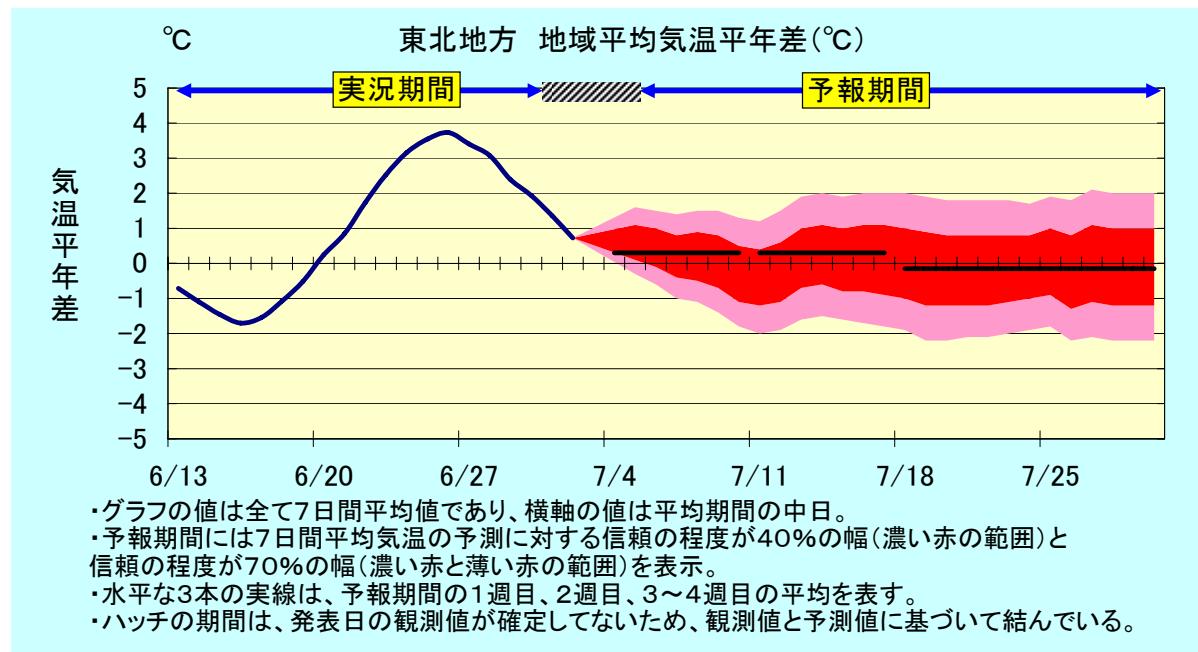
平均気温は平年並または低い確率とともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.3日	2.7日	2.7日	7.9日
東北太平洋側	11.6日	2.5日	2.2日	6.9日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3~4週目とともに平年付近の予想となっている。予報はその他の資料より、1週目を高めに、3~4週目を低めに考える。

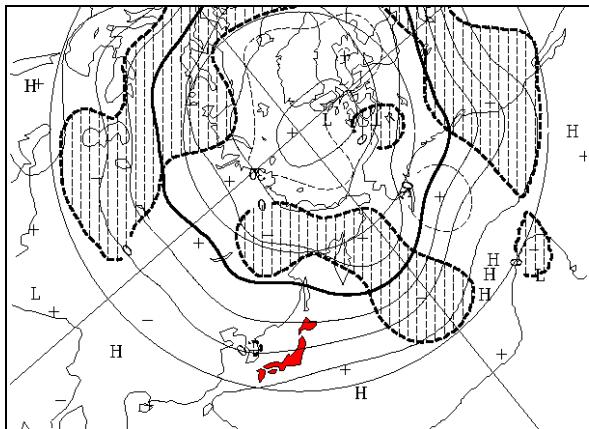


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均：極東域はおおむね正偏差。850hPa 気温予想図（図略）でも日本付近は正偏差だが、偏差は小さい。沿海州付近で偏西風の分流傾向が見られ、寒気やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期がある見込み。

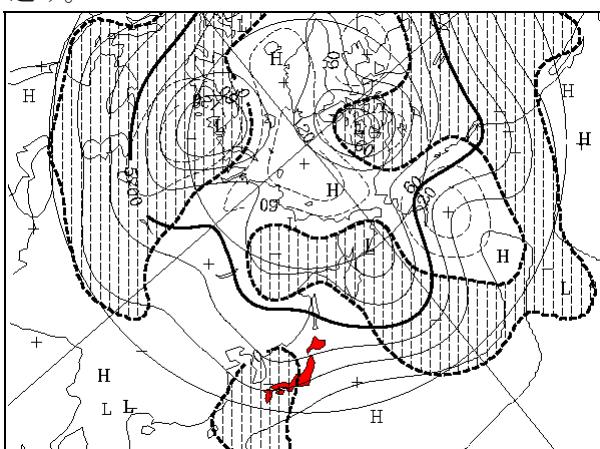
1週目：日本の北から南東海上にかけて正偏差、日本海から東シナ海は負偏差で西谷傾向。南からの暖かい空気が入りやすい見込みで、やや高温傾向。

2週目：1週目に比べて、太平洋高気圧は西へ張り出し、西谷傾向はやや弱まる。梅雨前線が北上して東北地方はその影響を受けやすくなる見込み。

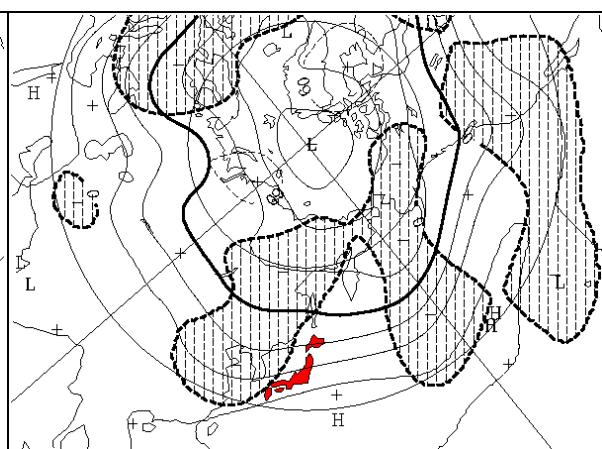


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

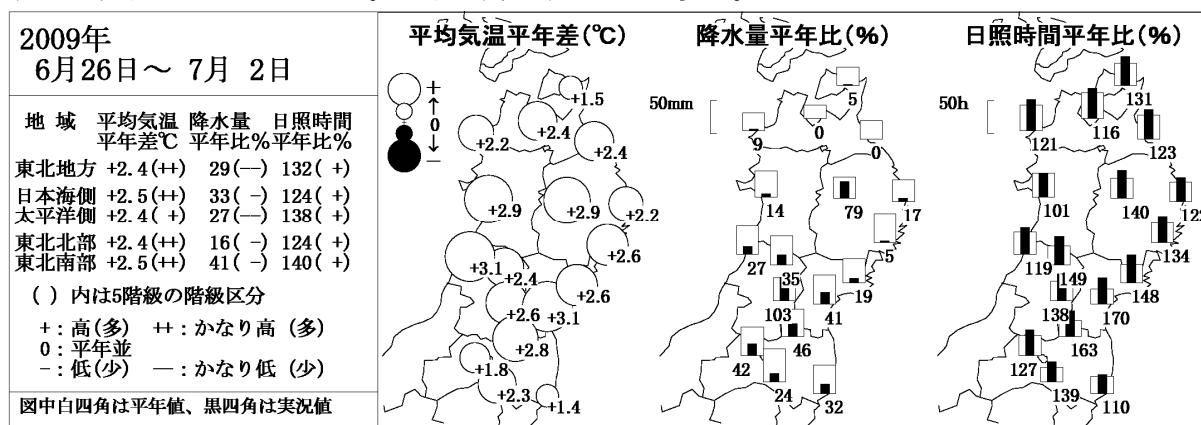
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (6月26日～7月2日) の天候の経過

期間の前半は、梅雨前線が本州の南海上に停滞し、高気圧におおわれ晴れの日が多くなった。また、暖かい空気におおわれたため、気温の高い日が続き、新庄と酒田で6月としての日最高気温の高い方からの極値を更新するなど、顕著な高温となった。期間の後半は、梅雨前線が本州南岸まで北上し、曇りや雨の日が多くなった。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北地方で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）